

(参考様式 6 - 1)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
西箕輪地区活性化計画 改善計画書

平成30年9月28日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
長野県	長野県 伊那市	伊那市 西箕輪地区	平成26年度 ～平成29年度	平成26年度 ～平成28年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
都市農山漁村総合交流促進施設	交流促進施設 1 棟 (523.91 m ²) 地域食材提供施設 7 棟 (183.84 m ²)		伊那市	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
交流人口の増加	5.52%	-5.53%	-100.18%	

2 目標が達成されなかった要因

<p>◎事業開始の平成26年度から平成27年度にかけて、交流人口の減少に歯止めがかからず、目標値を大幅に下回ってしまい、平成28年度から増加に転じたものの、目標値に届かず達成率がマイナスとなった。これは、平成26年度に設計、平成27年度に着工し、施設の供用開始が平成28年度以降であったため、活性化計画目標が過大となったことによる。</p> <p>◎様々な農産物の収穫体験に力を入れる産地が増加しつつあることから産地間での競争が激化していることとツアーバスの規制が強化された事により、より主要都市に近い産地にシフトする傾向があり、首都圏からの交流人口の増加が鈍化している。</p>
--

3 目標達成に向けた方策

目標達成予定年度	平成33年度
事業の推進体制	はびろ農業公園管理組合により方針を決め、伊那市やJA、運営会議、地元農家等により取組を推進していく。
具体的取組方策	<ul style="list-style-type: none">交流促進施設を中心に、既存の施設との連携により、1年を通して、来園者が十分に満足できる農業公園となるように取り組む。都市住民が興味を持って参加しやすい体験メニューやイベントを企画開発し、ツアー会社等との連携により、交流人口の増加を図る。インバウンド、健康志向、教育旅行など多様な来園者に対応できる魅力ある公園となるように、受け入れ体制や施設・設備の充実を図る。

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

- 交流施設を利用した顧客が、食事、買い物と利用しやすい方法を具体的に考える必要がある。スタンプ集めてプレゼントや、2箇所、3箇所割引など。
- 年間を通じて、イベントの回数は実施をしており、回数を増やすことは困難と考えられる。内容を独自性のあるものに変えて交流人口を増やすことを考えるべきである。
- ツアーバスだけでなく、伊那市に訪れる教育旅行のコースに組み込むようセールスを強化する。
- みはらしのいちご狩りは、評価が高く、受け入れ拡大を目指す必要がある。新たなものの開発も必要だが、他産地より強みのあるものを強化してもらいたい。

(一社) 伊那市観光協会 事務局長 中村 忠人